

第4号議案資料一1

平成16年度

事業報告書

(平成17年3月)

社会福祉法人
うきは市社会福祉協議会

- 目 次 -

うきは市社会福祉協議会運営理念	1
うきは市社会福祉協議会組織構成、平成16年度役員名簿	1
平成16年度事業報告	
重点目標	2
. 概 要	2
. 事 業	2
1 . 住民の福祉を深める事業	2
2 . 市民からの善意を取り次ぐ事業	3
3 . 福祉活動に関わる人づくり事業	3
4 . 地域の福祉力を高める事業	3
5 . 福祉の問題を把握・解決する事業	4
6 . 金銭的な支援をおこなう事業	4
7 . 公的に要支援者・要介護者を支える事業	4
8 . 会員制低額有償サービスを支える事業	7
9 . 当事者を支える事業	8
10 . その他の福祉事業	9
11 . 公益サービス事業	9
. 会議開催状況	10
. 月別事業内容	11
. 寄付者名簿	13

うきは市社会福祉協議会運営理念

うきは市社会福祉協議会は、社会福祉法に明文化された「地域福祉の推進役」としての役割を果たすために、住民皆さまの会として、だれもが幸せに暮らせるまちづくりがみんなの手で進められるように、次の運営理念に沿って事業を展開していきます。

1. 地域住民・当事者の色々な声をしっかり聴きとって一緒に考えます。
2. 地域住民に必要な福祉情報の提供を積極的におこないます。
3. より多くの地域住民の力で福祉のまちづくりを実現します。
4. サービスの質の向上を図り在宅福祉の充実につとめます。
5. 行政や他の支援機関では対応できないことでも、当事者や地域住民と共に考え取り組んでいきます。

うきは市社会福祉協議会組織構成

議 決 機 関	評 議 員 会	30名
執 行 機 関	理 事 会	12名
監 査 機 関	監 事 会	2名

平成16年度役員名簿

(平成17年3月31日)

役 職	氏 名 (選出区分)
理 事(会 長)	藤谷 大憲 (学識者)
〃 (副会長)	泉 和鶴也 (学識者)
〃 (副会長)	堀江 一見 (学識者)
〃	稲田 好男 (区長会)
〃	松岡 重忠 (公民館・ふれあいセンター)
〃	和田 奈保 (婦人会・女性部)
〃	金子 清美 (民生委員児童委員協議会)
〃	今村 茂清 (市議会)
〃	怡土 康男 (市行政)
〃	齋田 和弘 (学識者)
〃	江藤 洋介 (学識者)
〃	石井 忠孝 (学識者)
監 事	井浦 要一 (学識者)
〃	大山 忠義 (学識者)

平成16年度事業報告

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

基本目標「だれもが幸せに暮らせるまちづくり」

重点目標

1. うきは市全体像を把握するため調査等をおこない情報収集に努める
2. 旧浮羽町吉井町の取り組みの持ち味を融合した地域福祉活動の発展に努める
3. 合併により福祉活動の停滞や福祉サービスの低下が起きないようにする

概要

平成17年3月1日、吉井町社協と浮羽町社協が合併し、社会福祉法人うきは市社会福祉協議会が誕生しました。

本会にとって、この16年度は3月1ヶ月のみでしたが、本会活動の基礎となる諸規程及び要綱の制定、各種事業の摺り合わせ、行政との連絡調整事務等、今後の事業実施に向けての土台作りともいえる活動が中心となりました。

しかし、合併以前よりおこなってきた各種自主事業、委託事業、介護保険事業については利用者へのサービス停滞や低下を招くことのないよう、継続的に実施してきました。

事業

1. 住民の福祉を深める事業

地域の様々な福祉課題や情報を社協だより「福祉のかわら版」として全戸に配布すると共に、福祉委員だよりも従来どおり発行し、住民への啓発活動を展開しました。

(1) 社協広報誌による啓発

様々な福祉情報を発信するため、また住民からの意見をいただくために広報誌を発行しました。

広報誌名	発行日	配布対象
福祉のかわら版(社協だより)	毎月15日	市内全戸配布、関係社協、関係機関
福祉委員かわら版	毎月1日	福祉委員、区長、分館長、民生児童委員

(2) 啓発資材の作成と資材による住民啓発

社協内入り花の種の配布

社協の所在地と電話番号等連絡先を明記した社協名入り花の種セットを、寄付来訪者やよりあい参加者などに配布しました。

防災無線の活用

市役所の防災無線を利用して、社協の相談窓口の開設日程、各種福祉行事の開催などのお知らせをおこないました。

相談パンフレットの配布

総合相談事業の一環として、相談パンフレットを各種会合等において市民に配布し、気軽な相談窓口として啓発活動をおこないました。

2. 市民からの善意を取り次ぐ事業

(1) 地域献血事業・広報活動

地域献血にたくさんのご協力をいただくため、献血協力のチラシ配布、市役所防災無線を活用して呼びかけをおこないました。

その結果、ふれあい荘で地域献血に、多数の市民の方々にご協力いただきました。

(期日3/28 参加者数211名 献血者数155名 内200ml 4名、400ml 151名)

3. 福祉活動に関わる人づくり事業

市内の支援の必要な高齢者障害者からのボランティアニーズに対応して、ボランティア協議会などのボランティア団体と協力し、随時支援活動を実施してきました。

(1) ボランティアセンターの機能強化

ボランティアニーズの需給調整

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日(日、祝日は休み)の8:30～17:00にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこなってきました。

よりあいコーディネーター派遣事業

各区でのよりあい活動を支援するために、「よりあいコーディネーター登録」をしていただき、各区からのよりあい指導要請に応じて指導者の派遣を随時おこないました。

(登録者数:4名、2団体(平成17年3月31日現在) 派遣実績 3回 3名)

(2) ボランティア連絡協議会の支援

ボランティア従事者研修

ボランティア連絡協議会に所属する会員研修として先進地視察研修を実施しました。

(実施日:3/24 視察先:佐賀県みやき町ボランティア連絡協議会 参加者29名)

(3) ボランティア活動啓発

ボランティア活動の報告やボランティア募集などの記事を福祉のかわら版(社協だより)に随時掲載し、住民啓発に努めました。

(4) ホームヘルパー実習の受け入れ

福祉の人材育成の一環として学校等からの現場実習の受け入れをしています。

・期日 3/15 養成機関名 共生館福祉医療専門学校 受入人員 1名

4. 地域の福祉力を高める事業

地域の福祉活動拠点として、旧浮羽町において各地区毎にふれあいセンターを設置していただき、それぞれの活動を充実強化を図るため担当地区職員を配置し、活動支援をおこないました。

(1) 福祉委員活動の活性化

小地区の福祉のお世話役である福祉委員の活動活性化を図るため、福祉委員かわら版による情報提供、地区担当職員による活動支援をおこなってきました。

(2) 福祉会リーダー研修

福祉会設置区を対象に、より一層の活動推進を図るため福祉会リーダーを対象とした先進地視察研修を実施しました。

(期日:3月15日 視察先:福岡市早良校区社協 参加者:16名)

5. 福祉の問題を把握・解決する事業

住民からの様々な声が聞き取られように総合相談窓口を設置し、様々な相談を受けられる様になりました。

(1) 総合相談事業の実施

住民皆さまからの生活課題や暮らしの中で悩み事などをお聞きししながら、様々な福祉サービスや住民福祉活動に結びつけられる様に様々な相談窓口を設けて、1人でも多くの皆さまの声を拾い上げられるようにしています。

(平成16年度においては、合併前の体制により相談事業を実施した。)

相談の種類	開設日数	延べ相談員数	相談件数
心配ごと総合相談	26日	35人	21件
無料法律相談	2日	2人	12件
母子・父子・婦人相談	2日	3人	1件
障害者相談	3日	4人	2件

(2) 相談員の資質向上に係る研修活動の実施

多様な相談に対応するため相談員研修の研修会を実施しました。

(実施日:3月29日 会場:うきは市福祉センターふれあい荘 参加者:27名

講師:宮崎智美弁護士 演題:「サラ金問題に関すること、知的障害者や高齢者の財産保全に関すること」)

6. 金銭的な支援をおこなう事業

経済的な問題により、日常生活や就学等に金銭的支援を要する方に対し、各種貸付資金の申請手続き説明や資金貸付を実施しました。

(1) 資金貸付制度に関すること

民生委員児童委員協議会の指導のもと、低所得世帯の更正指導をおこなう一環として、資金貸付制度の運用をおこないました。

援護資金貸付事業

平成16年度援護資金貸付償還状況 ()内は件数

区分	年度当初償還残額	年度内貸付額	年度内償還額	年度末償還残額
16年度2月以前貸付*	617,500円(10件)		62,000円	555,500円(9件)
16年度(3月)内貸付		0円(0件)	0円	0円(0件)
合計	617,500円(10件)		62,000円	555,500円(9件)

(*16年度2月以前貸付は、吉井町社協、浮羽町社協において貸付たものを合算した額及び件数)

7. 公的に要支援者・要介護者を支える事業

(1) 介護保険事業に関すること

市内の介護保険受給対象者のために、介護保険サービスの質の確保に努めました。

居宅介護支援事業(ケアプランサービス)

事業所名称 うきは市ケアプランサービスセンター(うきは市浮羽町朝田589番地1)

県指定年月日 平成17年3月1日

営業日 月曜日～金曜日(但し、国民の休日、12/29～1/3を除く)

サービス提供時間 午前8時30分～午後5時15分

活動体制 介護支援専門員8名

3月実績 登録者数476名(内、認定者数345名)、作成件数268件
 訪問介護事業
 事業所名称 うきは市ヘルパーステーション(うきは市浮羽町朝田589番地1)
 県指定年月日 平成17年3月1日
 営業日 年中無休(但し、12/31と1/1を除く)
 サービス提供時間 午前7時～午後9時
 活動体制 ホームヘルパー16名
 3月実績 利用者数76名、サービス回数959回

訪問入浴介護事業
 事業所名称 うきは市デイサービスセンター(うきは市浮羽町古川718番地4)
 指定年月日 平成17年3月1日
 営業日 月曜日～土曜日(但し、12/30～1/3を除く)
 サービス提供時間 午前8時30分～午後5時15分
 活動体制 看護職員1名と介護職員2名
 3月実績 利用者数9名、サービス回数44回

通所介護事業
 事業所名称 うきは市デイサービスセンター(うきは市浮羽町古川718番地4)
 指定年月日 平成17年3月1日
 営業日 年中無休(但し、8/14と8/15、12/31～1/3を除く)
 サービス提供時間 午前9時30分～午後4時
 活動体制 職員10名(生活相談員、介護職員、看護職員、機能訓練指導員)
 3月実績 利用者数150名、延利用者数1,217名

(2) 介護予防・地域支え合い事業に関すること

行政からの受託事業として、介護予防・地域支え合い事業を実施し、在宅福祉サービスの質の確保に努めました。

生きがい活動支援通所事業(生きがいデイサービス事業)

介護保険での認定(要支援、要介護)は受けていないが、ひとり暮らし高齢者等で、家に閉じこもりがちの方を対象に、通所により各種のサービスを提供。(2ヶ所で実施)

・うきは市デイサービスセンター(介護保険での通所介護事業と併せて実施)

3月実績 利用者数14名、延利用者数50名
 利用者負担 1,000円/1日(昼食、入浴、送迎)
 利用日 月曜日～土曜日(午前9時30分～午後4時)

・うきは市福祉センターふれあい荘(単独で実施)

3月実績 利用者数10名、延利用者数34名
 利用者負担 739円/1日(昼食有)
 利用日 月曜日(午前10時30分～午後3時)

食の自立支援事業(給食サービス)

浮羽町配食センター(うきは市社会福祉会館内、給食室)と吉井町配食センター(うきは市福祉センターふれあい荘内、給食室)の2ヶ所で、同じ献立で調理、配食。

・浮羽町配食センター

活動体制 調理:給食員3名とパート1名(パート登録5名)
 献立:栄養士1名(吉井町配食センター兼務)

配食:給食員とボランティア(登録26名:平成17年3月31日現在)

配食コース 昼食5コース(ボランティア4名) 夕食5コース(ボランティア3名)

サービス内容 毎日2食(昼食・夕食)を調理、配達。但し、日曜日は休み。配食時間(昼食10:45~)(夕食15:45~)

利用者負担 1食300円

3月実績 利用者数81名、配食回数54回、延配食数2,717食

上記の他に、通所介護事業に1,498食(スタッフ食含む) 生きがいデイサービス事業に50食を配食。

・吉井町配食センター

活動体制 調理:給食員3名とパート1名(パート登録2名)

献立:栄養士1名(浮羽町配食センター兼務)

配食:給食員

配食コース 昼食3コース 夕食4コース

サービス内容 毎日2食(昼食・夕食)を調理、配達。但し、日曜日・国民の休日は休み。配食時間(昼食10:30~)(夕食15:30~)

利用者負担 1食300円

3月実績 利用者数87名、配食回数52回、延配食数2,979食

上記の他に、生きがいデイサービス事業に34食を配食。

生活管理指導員派遣事業

介護保険での認定(要支援、要介護)は受けていないが、日常生活を営むのに支障があるひとり暮らし高齢者等に対し、生活管理指導員を派遣して、日常生活上の援助を行い、自立した生活を可能にし、要介護状態への進行防止に努めました。

3月実績 利用者数4名、サービス回数18回

高齢者外出支援サービス事業

既存の交通機関を利用することが困難な高齢者等に対して、外出支援サービス用自動車を行い、病院等への通院、あるいは生きがい活動支援通所事業(生きがいデイサービス事業)への送迎をおこない、自立生活の質の確保及びその家族の身体的及び精神的負担の軽減に努めました。

区 分	利用実人員	延べ利用者数
病院への通院等	0人	0人
生きがいデイサービスへの送迎	6人	19人

(3)在宅高齢者に係る総合支援に関すること

うきは市在宅介護支援センター「介護センターよしい」

市の受託事業として、うきは市福祉センターふれあい荘内に旧吉井町を活動区域とするうきは市在宅介護支援センター「介護センターよしい」を開設し、高齢者の生活、介護、福祉サービスなど、様々な総合相談窓口として業務におこなっています。相談業務の他、在宅福祉サービス実施に係る訪問調査、サービス申請代行、在宅高齢者の実態把握訪問調査、介護予防プランの作成、介護用品の展示などもおこなっています。

・3月の実績 相談件数 40件(来所2件、訪問23件、電話15件)

実態把握件数 13件(男性2件、女性11件)

介護予防プラン作成件数 10件(男性0件、女性10件)

(4) 障害者居宅支援事業に関すること

在宅障害者(児)のために、居宅介護サービスの質の確保に努めました。

障害者居宅介護事業: 支援費事業

国の支援費制度事業として、身体障害者(児)、知的障害者(児)に、ホームヘルパーを派遣。

3月実績 利用者9名、サービス回数114回

精神障害者居宅介護事業: 補助事業

国の制度として、精神障害者にホームヘルパーを派遣。

3月実績 利用者4名、サービス回数16回

障害者訪問入浴サービス事業: 受託事業

市の受託事業として移動入浴車で、障害者の自宅を訪問し、入浴介助を実施。

3月実績 利用者1名、サービス回数8回

(5) 身体障害者小規模通所授産施設「白鳥の家」運営

身体障害者福祉法及び社会福祉法の規定に基づき、適正な運営を行い、利用者の社会生活の自立と社会経済活動への参加を支援することを目的に設置。

認可年月日 平成15年4月1日

施設所在地 うきは市浮羽町朝田578番地

運営状況
・開所日(時間) 月曜日～金曜日(午前9時～午後4時)
但し、第2土曜日は開所。その場合は、次週月曜日が休み

・指導体制 生活支援員1名、職業指導員3名(パート)

・通所者定員 19名

作業内容
・業者下請け作業 箱組立作業、芳香剤箱詰め作業
・アルミ回収作業 市民の皆さまにご協力いただいています。
・自主製品の製作販売 牛乳パック再生イス、Tシャツ、トレーナー、小物づくり(帽子、手提げ)
・プリント印刷 名刺、年賀状などの印刷Tシャツ等、布製品への印刷
・スワンショップ 日用雑貨品等の販売

3月実績 開所日数23日、通所者数17名、延通所者数309人

8. 会員制低額有償サービス

(1) 住民活力による支援事業

公的サービスでは補えない部分を支援している、会員制低額有償サービス(移送、小修理等)実施団体に対して支援をおこない利用者のニーズに柔軟に対応できるサービスの安定に努めました。

うきうき福祉サービスへの支援

会員制の支援グループとして、主に家屋やその周辺の手入れなどの軽作業を実施しています。

平成16年度会員登録実績(H17.3.31現在)

会員登録	利用会員	独居高齢者	3名
		高齢者夫婦	36名
		障害者	6名
		母子家庭	2名
		その他	2名
	計	49名	
協力会員	協力員	7名	

ハンディキャブ(移送サービス)事業への支援

会員制の移送支援グループとして、社協の所有するリフトカー、介護車を活用して通院送迎などを実施しています。

平成16年度会員登録実績(H17.3.31現在)

会員登録	利用会員	歩行困難な高齢者	19名
		車イス常乗車	3名
		視覚障害者	6名
		身体障害者	2名
		内部障害者	5名
		知的障害者	1名
	計	36名	
協力会員	協力員	7名	

平成16年度実施件数(H17.3.1～H17.3.31)

実施件数	通院送迎(ヘルパー等同行)	13件
	通院介助(送迎のみ)	16件
	その他(買い物、銀行、床屋外)	14件
	計	43件

・移送サービス運転ボランティア視察研修

福祉有償輸送サービスへの移行を踏まえて、3月26日、既に福祉有償輸送サービスとして認可を受け実施しているNPO法人サポネット小郡に視察研修を実施しました。参加者9名。また、研修終了後、今後の取り組みについての協議を行いました。

9. 当事者を支える事業

各種福祉団体・当事者団体の活動が円滑におこなわれるように支援・助言をおこないました。特に各団体の合併に関わる取り組みについても支援・助言をおこなってきました。

(1) 高齢者及び介護者支援に関すること

よりあい開催支援・活動助成(よりあいコーディネーター派遣)

各地で実施されているよりあい活動に対して、開催費の助成をおこなうほか、福祉機器・遊具の貸出、指導員の派遣、講師の連絡調整などの支援をおこないました。

・よりあいコーディネーター派遣 派遣回数 3回 派遣人員 3名

・職員派遣 派遣回数 5回 派遣人員5名(デイサービス職員1名、地域担当職員4名)

・福祉機器の貸出 1件、遊具貸出 36件

福祉用具の無料貸出

在宅で介護をおこなっている方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出をおこないました。

3月の貸出実績 67件

認知症高齢者ナイトケア事業の試行

旧浮羽町において、平成15年度より、認知症高齢者介護の一環として、うきは市デイサービスセンターにて、試行的に夜間介護を実施。この事業は、利用者家族からの強い要望を受けて、介護保険事業である短期入所生活介護(ショートステイ)以外の取り組みとして実施。

3月実績 利用者1名、実施回数1回(2泊3日)

ふれあい電話(電話による安否確認(旧吉井町のみ実施))

毎週火曜日、吉井町民生委員女性部により旧吉井町の概ね70以上の一人暮らし高齢者(希望者のみ)に電話での声の訪問(安否確認)をおこないました。

3月の実績 対象者数 15名

(2) 障害者及び介護者支援に関すること

視覚障害者用録音物・郵便物貸出事業

市内の視覚障害者の方へ、朗読ボランティア(声のグループ うさぎ、朗読ボランティア ともしび会)の協力により、広報うきは、広報よしい、議会だより、社協だよりなど身近な情報をテープ録音し、声の便りとして提供しました。

・利用者 15世帯

点字による情報提供事業

市内の点字を利用している方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、社協だよりなど身近な情報を点訳し、提供しました。

・利用者 10世帯

(3) 高齢者・障害者支援に関すること

福祉サービス利用援助事業

浮羽町からの補助事業として、本会単独での利用援助事業を実施。サービス内容は、福祉サービス利用援助事業、金銭管理サービス、保管サービスの3種類。サービス実施にあたっては、契約締結審査会において適否を協議するほか、契約事項の評価・点検を実施しています。

・契約締結者数 3名

10. その他の福祉事業

(1) 施設運利管理受託事業

市の受託事業として、「うきは市福祉センターふれあい荘」と「うきは市老人憩の家」の運営管理を実施し、市民の福祉活動、健康増進、憩いの場として利用いただきました。

施設名	開館 日数	利用者数					合計
		吉井町	浮羽町	市外	免除	半額	
うきは市福祉センターふれあい荘	26	610	1	1	1,045	102	1,759
うきは市老人憩の家	26	460	15	14	245	42	776
合計		1,070	16	15	1,290	144	2,535

11. 公益サービス事業

(1) 葬祭事業

「生活の無駄をなくす運動」の一環として従来からおこなってきた葬祭事業について、業者に委託し祭壇貸出(自宅葬)と斎場葬を低料金にて提供していきましました。

・祭壇利用(自宅葬)件数 11件

・斎場利用件数 2件